

地方からの 日本創造

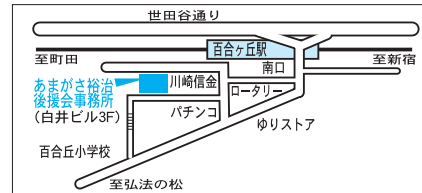


<裏面もご覧下さい>
横浜市営地下鉄 3 号線についてのアンケートの詳細をまとめました。

麻生通信

あまがさ
あまがさ
あまがさ

発行所 / 民主党川崎市議会議員団事務局
市役所内 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町 1
TEL 044-200-3355 FAX 044-245-4135
事務所 〒215-0011 川崎市麻生区百合丘 1-20-7
TEL・FAX 044-955-2417
ホームページ: <http://www.e-amagasa.net/>
Eメール: amagasa@khaki.plala.or.jp



・小田急線百合丘駅下車徒歩1分
・川崎信用金庫百合丘支店並び、白井ビル3F

あまがさ裕治のオピニオン

川崎市総合都市交通計画案に対する市民意見がまとめられ、4月には発表になります。

計画案の中で川崎市は「JR南武線連続立体交差事業」や「羽田連絡道路」を「中短期（10年以内）」に事業を完了する「事業」と位置付けています。

しかし、広いエリアを持つJRは、株主総会で示した主要ターミナル以外にはあまり事業意欲を持たないのが現実です。しかし、成田に向け京成ライナーに対抗して成田エクスプレスを運行したように、3号線延伸計画を進めることで、小田急線沿線の居住者で南武線利用していた人が3号線利用に流れる状況を示すことにより、JRを焦らせ、南武線の連続立体交差事業を促進させる効果があると考えられます。

羽田連絡道路は、他自治体との調整ができていない計画です。橋は計画、設計を含めて10年以上はかかってしまう事業です。

このように市の総合都市交通計画は多くの部分で実行性がありません。横浜市営地下鉄3号線は、乗客も伸び、単年度黒字化している路線です。横浜市との協議がすでに始まっています。

市民の皆さんの要望通り、早期に着工を目指す路線として位置付け、事業促進すべきです。

ブルーライン 横浜市営地下鉄3号線の延伸計画

「新百合～あざみ野」必要が90%



鈴木横浜副市長（左）、川辺芳男副議長（中）にアンケート結果を渡すあまがさ裕治（右）

皆様の声を横浜市に届けました
「横浜市にとって延伸計画は大切
川崎市の推進を期待する」

2月22日、横浜市・鈴木伸哉副市長と川辺芳男・市会副議長に「横浜市営地下鉄3号線の延伸についてのアンケート」の集計を手渡しました。鈴木副市長は「3号線の延伸は横浜市にとって大切な事業。川崎市の積極的な取り組みをお願いしたい」とお話しいただきました。市民の皆さんの声を大切に、横浜市営地下鉄3号線延伸の早期実現に向けて取り組んでいきます。

今回のアンケートの延伸が「必要」90.2%という回答はこれまでの調査の中でも一段と高率です。計画について「知っている」という人が85%に達するなどの理解も深まっています。（2面に詳細）

横浜市では「次世代の総合的な交通体系検討会」を進めています。川崎市は平成23年6月に横浜市との間で「新たな交通体系検討に向けた横浜市と川崎市の連携協力に関する覚書」を締結。連絡会議を開催し、検討スケジュールや課題の確認、双方の検討状況の情報交換を進めてきました。

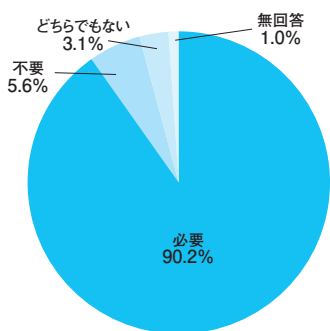
「川崎縦貫高速鉄道」にこだわってきた川崎市は、今年度になってようやく関連の鉄道事業会計の閉鎖を決定しました。

横浜市と川崎市の連携協力に関する覚書締結。連絡会議を開催し、検討スケジュールや課題の確認、双方の検討状況の情報交換を進めてきました。

「川崎縦貫高速鉄道」にこだわってきた川崎市は、今年度になってようやく関連の鉄道事業会計の閉鎖を決定しました。

横浜市と川崎市の連携協力に関する覚書締結。連絡会議を開催し、検討スケジュールや課題の確認、双方の検討状況の情報交換を進めてきました。

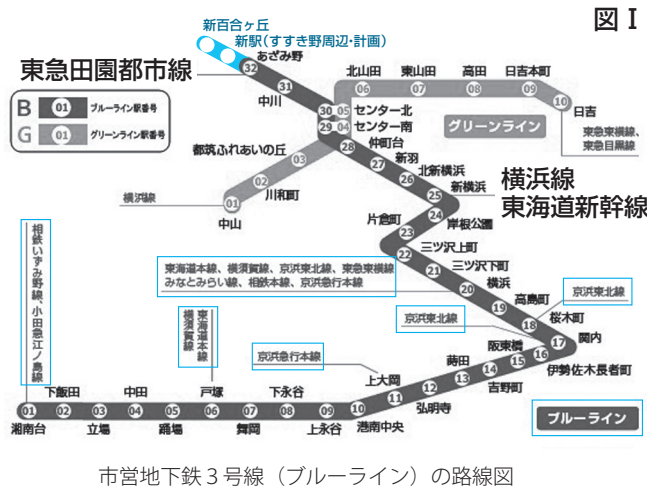
Q 延伸は必要だと思いますか



延伸必要90% 不要5.6%

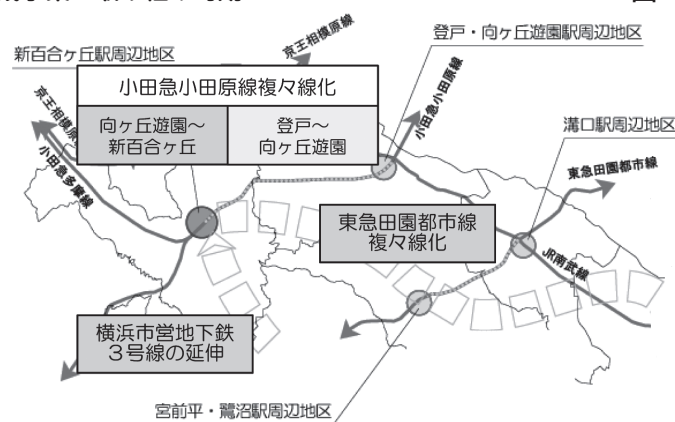
延伸は必要だと思いますか？

回答数	構成比
必要	432 90.2%
不要	27 5.6%
どちらでもない	15 3.1%
無回答	5 1.0%
計	479 100.0%



川崎市総合都市交通計画案より

■鉄道ネットワーク形成事業の取り組み時期



縦貫高速鉄道を計画からはずしたからには、川崎市が進めてきたラダー（はしご）型の交通体系を作り上げるためには、市営地下鉄3号線の延伸はどのように必要です。にも関わらず、最近市が発表した「川崎市総合都市交通計画（案）」では、市営地下鉄3号線延伸計画について「横浜市の方針、考え方によって位置づけは変わるが、中長期（20年以内）に着手（都市計画事業の認可、または用地取得や工事等に着手する段階）を目指す事業と位置付ける」（図II）と、これまでの積極的な表現ではありません。

横浜市営地下鉄3号線の延伸についてのアンケートの説明を受けた鈴木伸哉・副市長は「麻生区民の意見まとめた資料です。横浜市にとって3号線の延伸は大切な事業。半分は川崎市内を通るので、川崎市の協力無しには実現しません。縦貫高速鉄道のこだわりがなく、なりたいまま、ぜひ積極的な取り組みをお願いしたい」とお話しいただきました。

川崎市は中長期の計画と位置付けていますが、皆さんの回答に則して、早期整備を進めるように市に働きかけていきます。